



## 2013-2014 年度 第 1547 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：仲田俊夫 幹事：田口久雄 会報委員長：藤島 拓  
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ 《水曜 12：30》  
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内  
 TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)



9 月 第 2 例会

2013 年 9 月 11 日 (水)

会員数 44 名 出席 24 名



司 会

田島久夫 S. A. A

- ロータリーソング「我らの生業」



会長挨拶

仲田俊夫 会長

皆さんこんにちは。

2~3 日前から朝、寒さで目が覚める様になりました。タオルケット 1 枚で寝ていましたが、2 枚にして寝ています。皆様も風邪を引かないようにご注意ください。

会長となり 2 カ月が過ぎましたが、先日他クラブの会長に、どんな話をしたら良いのか思案していると聞きしました。ある方からはロータリーの話をするようにと言われておりますが、それに沿った話を模索している所です。

本日、夕刻よりインターアクトの話し合いがございます。その際、予算案が出ますが、他クラブのインターアクト設立時の資金は大きく、会員の皆様の支援援助があったそうです。当クラブでも皆様全会員にご協力をお願いする事となりそうです。悲願であります設立ですので、是非のご協力をお願い致します。

本日の卓話は、塩田会員の野球部のお話です。陽北 RC に三男がおりまして、南クラブはとても強いとの印象があるそうです。皆様頑張って下さい。

宇都宮北ロータリークラブでは、2 名の入会が決まりました。その後、2 名の入会予定者があり、前期で 4 名の増強となるそうです。村上芳弘ガバナー補佐が 5 名の目標を掲げておりますが、当クラブではまだ 1 名です。是非皆様方のご協力を、村上ガバナー補佐と若月増強委員長の顔を立てるつもりで、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ロータリー財団・米山記念奨学会 特別寄付

ロータリー財団 寄付

合計 1,000 円

米山記念奨学会 寄付

合計 2,000 円



## 幹事報告

田口久雄 幹事

- § 第 2550 地区 地区大会が 10 月 5～6 日に開催されます。6 日は例会扱いですので全員の出席をお願い致します。(詳細 : FAX)
- § 大船渡西ロータリークラブより、栃木での竜巻発生に対してご心配のメールが届いております。
- § 青少年の自立を支える会 自立援助ホーム星の家より、寄付のお礼状が届いております。(回覧)
- § ロータリーの友英語版の購読案内が届いております。(回覧)
- § 本日 PM6 : 30 より第 2 回インターアクト設立準備委員会が開催されます。



## スマイル BOX 委員会

喜内敏夫 委員

- § 仲田俊夫会長 塩田監督、ご苦労様です。宇都宮南ロータリークラブの会員の「絆」の一端を野球部は担っています。これからも当クラブの発展にご協力お願いします。
- § 小保方信聴会員 何となく秋めいて参りました。オリンピックも決まり、日本全体が華やいで参りました。季節の変わり目の、体の変調には気を付けて下さい。
- § 塩田 潔会員 今日は、久しぶりの卓話です。よろしくお願いします。野球の話で退屈すると思いますが、30 分耐えて下さい。
- § 平澤照隆会員 早いもので、震災から 2 年半経ちました。まだまだ復興の足音は聞こえて来ません。全面復興を祈りましょう。
- § 坂本昭一会員 南ロータリークラブ野球部監督塩田様多いに語って下さい。
- § 藤島 拓会員 塩田監督、本日の卓話、楽しみにしています。よろしくお願い致します。2020 年の東京オリンピックで野球ソフトが復活する事を願ってスマイルします！！
- § 山本敬三会員 宇都宮南 RC 野球部万歳！！監督を胴上げしよう！！
- § 青木克浩会員 本日は我が野球部 塩田監督の卓話、楽しみにしております。
- § 中野智之会員 塩田会員の卓話、楽しみにしております。
- § 嶋田辰雄会員 塩田監督、本日の卓話楽しみにしていますが、耳の痛い話はどうぞ控えめをお願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました。 今週の金額 10,000 円  
 亙理ロータリークラブワンコイン支援 今週の金額 600 円



## 会員卓話

野球部監督 塩田 潔 会員

## 「野球部の歴史・メンバー紹介」

野球部の歴史と、メンバー一人一人の特徴をお話し下さいました。  
 来る 10 月 13 日(日)の地区親善野球大会には、  
 皆様の大きなご声援をよろしくお願い致します。



野球部試合年表



(宇都宮南RC野球部戦績表)

(255地区大会)	1. 1986年(昭61)	(益子)・宇南0-X氏家・宇南X-0益子
	2. 1987年(昭62)	(土浦)・宇南(宇南) (宇南) (宇南) (優勝)
清原大会 神宮大会	③ 1988年(昭63)	10/2(日)(氏家)・宇南11-0土浦南 宇南3-0益子 宇南8-0牧(優勝)
1930大会	4. 1989年(平元)	10/22(日)(栗ヶ江)・宇南9-3水戸南 宇南5-3氏家 宇南8-0真岡(優勝)
	5. 1990年(平2)	10/14(日)(鹿沼南)
	6. 1991年(平3)	9/3(土)(新小倉) 宇南4-2古河
	7. 1992年(平4)	10/25(日)(日立) 宇南1-3取手
	8. 1993年(平5)	10/31(日)(清原) 宇南18-2下館 宇南22-0水戸 宇南4-5日北
	9. 1994年(平6)	11/3(日)(F館) 宇南9-1結城 宇南9-7益子 宇南0-5日北
(2550地区大会)	10. 1995年(平7)	11/12(日)(氏家) 宇南3-13.90 宇南17-1氏家
	11. 1996年(平8)	11/16(日)(鹿沼) 宇南6-8鹿沼東 宇南12-3.90
	12. 1997年(平9)	10/26(日)(栗ヶ江) 宇南12-0陽東 宇南6-3益子 宇南8-3陽北(優勝)
	13. 1998年(平10)	10/24(土)(栃木)
	14. 1999年(平11)	10/3(日)(足利)
	15. 2000年(平12)	11/5(日)(栗ヶ江) 宇南11-5真岡 宇南2-7鹿沼東
	16. 2001年(平13)	10/20(土)( " ) 宇南8-7足利 宇南5-4真岡 宇南2-4黒磯
	17. 2002年(平14)	10/19(土)( " ) 宇南3-2.90 宇南2-14鹿沼
	18. 2003年(平15)	10/25(土)( " )
	19. 2004年(平16)	10/17(日)(真岡) 宇南陽北5-6黒磯加東 宇南陽北14-5真岡 宇南陽北1-13鹿沼
	20. 2005年(平17)	10/30(日)(栗ヶ江)
	21. 2006年(平18)	10/8(日)( " ) 宇南陽北0-11鹿沼
	22. 2007年(平19)	10/7(日)(大田原) 宇南8-6益子 宇南0-11鹿沼
	23. 2008年(平20)	11/9(日)(栗ヶ江) 宇南3-7鹿沼東 宇南0-2陽北
1(和)	24. 2009年(平21)	10/3(土)(石井緑地) 宇南6-⑥別地区 宇南X-0真岡
	25. 2010年(平22)	10/17(日)(宮原) 宇南0-12鹿沼 宇南6-7宇北
	26. 2011年(平23)	10/29(土)(鹿沼) 宇南8-4宇南 宇南3-11足利地区
	27. 2012年(平24)	10/14(日)(栗ヶ江) 宇南17-1宇北 宇南1-5鹿沼東





招待卓話 7月31日(水)

## 栃木 SC 顧問 松本育夫 様

私は、15歳で宇都宮工業高校に入り、ただひたすら勝利と言うものを目指す道を歩み、現在72歳になる所でございます。50数年間ただひたすら勝利を求めた道の中で、結果を出したいと努力してきた人生を披露させて戴きまして、皆様のこれからの素晴らしい人生、或いはお仕事に少しでも役に立てて戴ければと思ってお話をさせていただきます。

1960年ローマオリンピックの年でした。日本のチームは前年韓国に敗れ、ローマオリンピックには出場できませんでした。4年後が東京オリンピックです。その1960年に早稲田大学に入った私に、サッカー協会から1通の手紙が届きました。4年後の東京オリンピックの為に選手を全国から72名選出し、その中から20名の選手を選考したいとの合宿の通知でした。私はそこに呼ばれ、そこからが日本代表としてのスタートとなりました。

4年後、私は大学を卒業し、広島市にある東洋工業(現在マツダ)に入社しました。丁度東京オリンピックの年ですから、会社で同期の新入社員とは全く別の扱いでした。早々と新しい職場に配属され椅子に座った瞬間、先輩からどのような言葉が私の耳に届いたかと言うと「おい、あの松本と言うのはサッカーバカだぜ、仕事は期待できないぞ。」とそんな言葉が聞こえてきました。しかし当時の私も若かったですからこの「バカ」という言葉は実に快く響きました。人間、何でも良いただ一つの事に力いっぱい行動ができ、それが継続できる人生と言うのは、実に素晴らしいではないかと言う事をおぼろげながら勉強させて戴いた訳です。その先輩に腹の中で「ではあなたは何かを「バカ」と言われるほど継続できる人生をお持ちですか。」と言う反発をした事を覚えております。40歳も後半になったので、やはり松本はサッカーバカで仕事を全然やっていないじゃないかと言われられないように、仕事に取り組んでいかないといけないと反省をさせられました。

当時マツダが開発した、ロータリーエンジンは理論上100%素晴らしいエンジンでした。

これを米国に輸出したら、石油危機に陥りロータリーエンジンは非常に燃費が悪いという事で販売不振が続き経営が傾いた時があり、その時、住友銀行の役員8名が会社に入って来ました。その中の一人、当時住友銀行の副頭取であった岩澤正二氏が会長職で来られました。この方が、陽明学の大家 安岡正篤先生の門下生であり、50年近く「人間如何に正しく力強く生きるのか」と言う勉強をしている事が耳元に入りました。47歳になっていた私は、会長の部屋に直接伺い自己紹介し、私はサッカーしかできないので、人間の生き方と言うものを学びたいと御願いました。すると会長は、「若者たちは勉強と言うと本を読み、読んだその知識を頭の中に詰め込む事と思っている。これは人生の中で、50%しか役に立たないぞ。なぜその得た知識を行動に移さないか、その行動に移している時に色々な体験をする。時には壁に当たり、時には問題を投げかけられる。その時にまた正しい知識を求めれば良い。だから人間の勉強と言うのは行動する事と、正しい知識を求める事、これを50・50行う。これが本当の勉強だ。」と言われなるほどと思いました。

「この勉強の時間を松本一人に費やすのは時間の無駄だ。どうせ同じ時間を費やすのであれば多くの人を集めてこい。男の志を持った者と未婚の女性。」と言われました。そして、私に「志」と言う字を書いてみろと言われました。会長は「志」の文字を「十・一・心」と分けて書きました。すると「色々な事を中途半端にやろうと思うな。その十、行いたい中から何でも良いから一つ選べ。その一つの心を以つ

て行動しろ。これが志だ。」未婚女性を集める訳を問いましたら「若い女性が結婚し子供が出来る。その子を育てるのが母親で、その母が勉強せずしてなぜ子が育つか。だから勉強させる。」私は声をかけ 47 名が集まって来ました。月に 4 時間、中国の古典に見る人間的な魅力と言う勉強を 13 年間授かって来ました。論語を声を出しながら 2 時間読む勉強し、その後、論語と世相を反映した授業を受け心が洗われました。会長が 90 歳になる時にこの授業が終了しました。

これまでの 13 年間の間に、人間生きて行く為に 3 つの条件がある事を教えてもらいました。

先ず第 1 の条件は、長い人生非常に起伏が多い、どこで何が起きるか分からない。起きた事を克服する力がなければならず、その為に気力・活力を身に備えろ。常に若さを保つ事。2 つ目の条件として、目標を持つ事。3 つ目の条件は、持った目標を結果として出すための力強い行動力を持つ事。この 3 つの条件が整った時、初めて美しい人生を歩む事ができると教えてもらいました。

「一字を通し真に物の深さを知れば、その目その頭で万事を考え、その物の真髄に近づける。」人間何でも良い、ある一つの事に力いっぱい行動、そして継続する。その中から教えてもらったものの考え方それは万事、全てのところで物の考え方が役に立つと言う実に素晴らしい言葉を教えてもらいました。私はサッカーをただ勝ちたいと言う気持ちで続けて来ました。

1960 年大学 1 年生の時、日本代表の合宿の最終日に発表になった代表メンバーに最年少 18 歳で私の名前がありました。そして、その代表メンバー 20 人を日本サッカー界で初めてという 50 日間ヨーロッパでサッカーを勉強させて、4 年後の東京大会に勝てるチームとなって戻ってくるように遠征に出されました。当時、日本は 200 ドル(1 ドル=360 円)以上持ち出し禁止でした。

現在の西ドイツでの 3 週間の合宿の中で、出会った指導者が私のサッカー人生をここまで導いてくれた人です。彼は、上に立つ者、リーダーとは如何なる条件を持つべきかを全て備えた指導者でした。当時 34 歳のデットマール・クラマー氏です。選手に求めるプレーを全てパーフェクトに自ら行い、何度も見せながら言葉を加えて教えます。これは良く分かります。1 日中指導する中で、不満があればもう一度プレーを見せ繰り返し指導する。サッカーは組織として集団で行動する。ただ一つの目標として勝つために 11 名の選手たちが努力をする。

その一つの組織の中には、誰もが行わなくてはならない共通の基本項目がある。全員が頭で分かっても体で出来なくてはならない。これが出来なくては選手ではないとまで言われました。サッカーグラウンドは縦 105 メートルで横が 68 メートルです。その中に自分以外の 21 人が敵と味方で分散している。その分散した選手たちが、何をやろうとしているか、どのような状況になっているかを、パスを受けて次のプレーをする前に全ての状況を把握する事。その中から自分のチームに最も必要なプレーを前もって考える事。(ルック・ビフォア シンク・ビフォア)これがまず一つだと言われました。パスを受ける時には最短距離で受ける。(メイク・ザ・ボール)味方の選手にボールをパスしたあと、自分の仕事は終わったと立ち止まるな。パスを出した足から次の空いている場所に動き、もう一度受け直す努力をしろと指導を受けました。(パス・アンド・ゴー)この 3 つを全員が習得する事を学びました。11 人に同じ選手は一人もおらず、一人一人の良さの違いがあり、それが個性である。チームの勝利の為に、個性を出して欲しいとも言われました。正しいプレーを見せ、正しい理論で選手たちを導く一流の指導者です。又、その上の「超」が付く超一流の指導者として、24 時間行動で示す非常に厳しい方でした。

西ドイツの夏の夜は 11 度まで気温が下がり乾燥もしています。練習に疲れ果てて寝ている間に、体を冷やすと翌日に疲労が残ってしまいます。夜中に寝入った選手に毛布を掛けて回るクラマー監督を見て、練習や試合での厳しい言葉は本当に心のこもった言葉だと知らされました。以後 8 年毎年鍛えられまし

た。

1968年10月24日メキシコオリンピックで日本は銅メダルを獲得しました。この歴史は一人の偉大な指導者、リーダーであり、24時間選手の為の愛情ある行動をとるクラマー監督によって作り出された歴史です。監督の部屋に掲げられていた言葉は「ものを見るのは目ではなく心で見ろ。ものを聞くのは耳ではなく心で聞け。目それ自体はものを見るだけであり、耳それ自体は物音を聞くだけである。」とありました。彼はその文章そのままの人でした。日本のサッカーを心から勝たせたい。心から選手たちを育てたいという心のこもった24時間の指導を肌で感じました。3週間の合宿が終わり、やがて西ドイツを離れようとした時にサッカーの指導者はこんなに素晴らしい人間をつくる事が出来るのかと感動し、将来自分は35歳くらいでサッカーを辞める時が来る。その時に自分がサッカーの指導者になる事が出来たら、将来若い選手たちと一緒に行動しながら、又自分と言うものを磨く事が出来るのではないか。将来サッカーの指導者になってみたいと言う人生の夢を、18歳の青春真っ只中に出会った一人の指導者から夢と言うものを与えてもらった。

その夢を与えられた私は、指導者とはなんでであろうと考えました。毎日休みなくグラウンドの上に立ち、選手たちに「ガンバレ、サボるな、力抜くな、今のは良いプレーだ」と必ず叱咤激励をしなければならない。その言葉を選手に受けてもらえなければ、指導者になった意味がない。では、その言葉を受けてもらう指導者になる為に何をしたら良いのだろうと考えました。

鞍馬監督に指導して戴いた時に、私だけに声をかけられたことがありました。他の選手の中にはサボっている者も力を抜いている者もいます。何故と問うた時に監督は、「人間の能力、選手一人一人の能力を100とした時、今100の力で練習をしている者に声をかける事により、101・102の力を持つ事が出来る。ところが、100の力がありながら適当に練習しているその者に、力を抜かずにやれと言っても所詮100までしかやらない。指導者にとって大切なことは一番頑張っている、最も努力している、苦しんでいるその選手に一番厳しい言葉を浴びせ、成長させることだ。」そういった指導者にならなければいけない。その為に何が必要か、ただ一つだけ答えがありました。それは、もし自分が現役の時に適当に力を抜いてやっていたら、その者が監督コーチと言う肩書を付けてグラウンドに立ったとき一番頑張って努力をしている選手はどう受け止めるであろうか。努力をし、苦しんできた監督が言う言葉ならば分かりましたと受けてもらえる。トレーニングにより、一人一人の能力を一つにまとめて勝たせる事が指導者の仕事だ。では、現役生活を全力で一日一日を生活する事、その行動の柱を作る事ができました。

子供達がサインを求めて来た時には、「全力に悔いなし」と言う言葉を必ず入れます。

やっておいて良かったの人生か、もう少しやっておけば良かったの人生かで、そこに大きな違いがある事を教えます。結果を信じた行動がとても大切なのだと、後で後悔しても始まらない。あの時やっておいたから、今日の今がある。それをどう指導するかが、私の仕事だと思っています。

私が長野の通信制高校にサッカーを教える為に赴任した時、毎月親たちが仕送りしてくれているお金をどれ程感謝しているかと問いました。口では感謝していると言っていました、実際は思っていないと感じました。そこで、段ボールの仕分けや郵便の仕分け、或いは古物商が買ってきた品物のゴミ落とし等をさせる事で、親が自分の所に送ってくるお金を稼いだのにどれ程大変な思いをしているのかを、実際の体験で感じてもらおうと体験させました。これを心で感じてもらえんと思いました。その後はどんなに苦しい練習も耐え、毎日5時間の練習でも逃げる選手は一人もいませんでした。そして7カ月過ぎた時に長野県で優勝し、全国大会に出場しました。この心の持ち方、支えるものが無ければ、何かがあった時にそれを克服する事が出来ません。しかし、感謝の気持ちを持たせたこの選手たちは、苦しくなった時に親の顔が浮かび、仕送りのお蔭で好きなサッカーができるのだと、強い気持ちを持つことが

できました。こうして2003年1月NHKでドキュメンタリー放送になりました。

2年目を向えたこの学校の生徒達、サッカー部に180名が入部しました。

心の持ち方、ものの考え方はとても重要であり、基本はいつになっても変わらないという事に結び付けて戴きたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

#### 出席報告 嶋田辰雄 委員

会員数 44名 前々回 8月28日  
 出席数 24名 訂正率 85.00%  
 欠席数 20名  
 出席率 66.66%

#### 次回例会

9月18日(水) 会員卓話  
 青少年奉仕月間に寄せて  
 青少年奉仕委員会



#### プログラム

月 日	時 間	内 容
9月18日(水)	12:30~13:30	会員卓話 「青少年月間に寄せて」 青少年奉仕委員会
9月25日(水)	12:30~13:30	外部卓話 「銀行から見た企業経営」 日本政策金融公庫統括 内田裕彦様

月 日	時 間	内 容
10月2日(水)	10:30~13:30	職場訪問 移動例会 鹿沼ソーラーファーム
10月6日(日)	9:00~17:30	第2550地区 地区大会 宇都宮グランドホテル
10月9日(水)	振替休会	10月6日地区大会出席の為
10月16日(水)	12:30~13:30	米山奨学生 卓話 米山記念奨学委員会
10月23日(水)	12:30~13:30	ガバナー補佐訪問 第3グループB ガバナー補佐 村上芳弘氏
10月30日(水)	18:30~20:30	夜間例会「紅葉狩り」 親睦・家族委員会